

学校内オルタナティブ教育に関する実証 (0304確定版)

実証フィールド校：横浜市立鴨居中学校
実証期間：2019年9月～2020年2月

2020年2月29日
株式会社 城南進学研究社 水野 雅恭
株式会社 JMC 宮崎 亮
横浜市立鴨居中学校 齋藤 浩司

当実証事業の背景と目的

- 様々な事情により、学校に登校できていない生徒、または一般クラスで授業を受けることができない生徒は、全国的に増加傾向である。不登校傾向の生徒は、中学校に行きたくない理由について、身体的症状以外の要因では「授業がよくわからない」「良い成績がとれない」「テストを受けたくない」など学習面での理由がみられている。（※1）
- その不登校傾向にある生徒たちに、ICTを活用した新たな学習の場と機会を提供することで、登校し学習する動機づけをおこない、また、学習時間を確保し、「教室」以外の場でも本来の学習範囲の補填が可能であることを実証することを目的とした。

（※1 「不登校傾向にある子どもの実態調査報告書」日本財団 2018年12月12日）

事業の概要

学校内特別支援教室（以下、「和」なごみルーム※）にて、不登校傾向または長期欠席傾向にある生徒や、学習の遅れが生じてしまっている生徒に対して、ICTを活用した自学自習可能な学習の機会と場を提供した。希望者には個別学習計画を作成して、目標を持ち、計画的に学習する支援を行った。

■ 民間学習支援員の配置

週2回（火・金の9:00-17:00）生徒に寄り添って各自の学びを支援した。

■ オンライン学習システム（デキタス）の利用

教科の学習には、小学生学習範囲までさかのぼり可能な教科書対応のオンライン学習システムを利用した。

■ PBLの実施

教科学習以外のソーシャルスキル向上と生徒同士のコミュニケーションの促進を目的として実施した。

※ 「和」なごみルームは個々の課題に応じた適切な支援を行うための教室である。



保護者・生徒への案内

当事業を始めるにあたり、保護者宛に文書で通知した。2回目は参加希望者を募集する内容とした。

7月に配布

令和元年7月

保護者様

最初のお知らせ

横浜市立鴨居中学校
校長 齋藤 浩司

ICTを活用した学習支援についてのお知らせ

梅雨の候、保護者の皆様におかれましては本校の教育活動にご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。

この度、鴨居中学校では横浜市教育委員会小中学校企画課と株式会社城南進学研究社が行う「ICT活用による学習支援」についての共同研究に参画することとなり、以下のように学習支援を始めます。ねらいをご理解のうえ、ご協力をお願いします。

- ねらい
ICTを活用した新たな学習の場と機会を提供することにより、学習内容や学習時間を計測し、今後の学習支援の一助とする。
- 関連会社と教材名
株式会社城南進学研究社 ICT学習教材「デキタス」(教科書準拠)

10月に配布

令和元年10月8日

保護者様

2回目のお知らせ

横浜市立鴨居中学校
校長 齋藤 浩司

ICTを活用した学習支援についてのお知らせ

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては本校の教育活動にご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。

この度、鴨居中学校では経済産業省「未来の教室」実証事業に参画し、令和元年2月末まで、以下のように学習支援を始めます。ねらいをご理解のうえ、ご協力をお願いします。

- ねらい
・ICTを活用した新たな学習の場と機会を提供することにより、学習内容や学習時間を計測し、今後の学習支援の一助とする。
・学習支援員が来校し、学習支援を行う。(学習支援員は関連会社が採用します)
- 関連会社と教材名
株式会社城南進学研究社 ICT学習教材「デキタス」(教科書準拠)
※「デキタス」は、インターネットを通じて、自学自習するシステムです。
学校ではタブレットを使用します。5分程度の動画を見て、画面上で小テストや単元テストを行います。家庭でもインターネット環境があれば使用できます。
- 学習支援の方法
①…特別支援教室(和ルーム)や別室で、タブレットを使用。
②…家庭のpcでインターネットを利用。
③…特別支援教室(和ルーム)での学習支援を希望する生徒。
④…特別支援教室で学習をしている生徒。

へ申し出る → ②全体で集約 → ③決定 → ④保護者へ連絡
数の場合は、お断りする場合があります。
切り 10月15日(火)

■ 参加候補者は19名。

全校生徒500名の中から、学校側からの紹介により15名が、保護者・生徒からの希望により4名が候補者となり、これら計19名の生徒に対して詳しい説明を行った。19名の候補者のうち15名が不登校または長期欠席傾向にある生徒であった。また、候補となった19名のうち、8名が定期的に学ぶようになった。

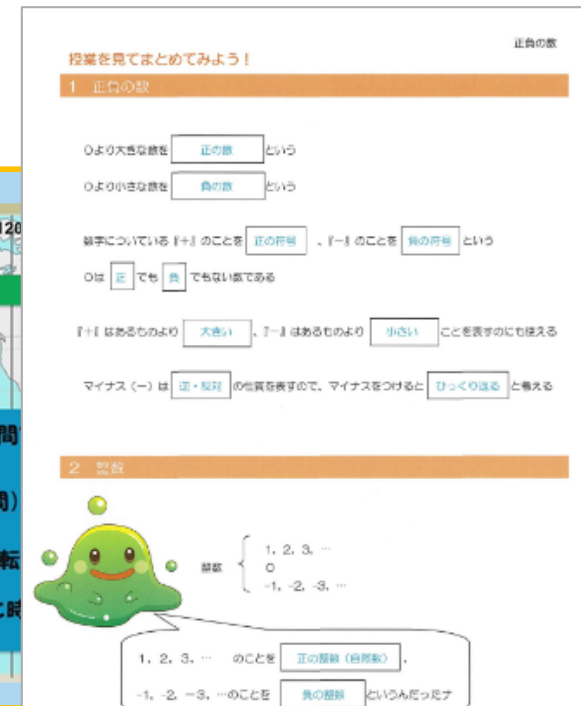
生徒・保護者への案内 まとめ

- ・各担任より家庭に当事業のご案内を行ったが、好反応であり、否定的にとらえたご家庭は皆無であった。
- ・短い期間の中で、周知方法が難しかった。準備が不十分のままご案内をおこなうこととなった。（オンライン学習システムをはじめとする学習支援の環境が整っていたため、柔軟に対応することができた。）
- ・当事業はICTを活用して教科指導のできる学習塾として誤認される家庭が一部あった。「学習支援員」や「学習支援」などの名称も含め、正しい伝達方法に課題が残る。

利用したICT教材



「和」なごみルームでは各自が異なる学年・教科の学習を自立して行うことができるよう、オンライン学習システム「デキタス」を使用した。データ容量上限7GB/月のポケットwifiを4台とiPad10台を使用した。



■ オンライン学習システム（デキタス）

アニメの解説動画を見ながら、ノートに穴埋めを行うことで、教科書の基本事項・重要事項の理解定着を行う学習スタイル。自分のペースで小学生まで学年のさかのぼりも可能であり、学ぶ楽しさを感じてもらえる教材としても教科学習を苦手としている生徒が多いと思われる当事業に適した教材と判断した。

学習の状況

「和」なごみルームまたは家庭内でICT（デキタス）を利用した学習実績は下記のとおり。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
総学習時間	30時間 27分	20時間 10分	97時間 7分	15時間 6分	15時間 9分	15時間 13分	193時間 12分
受けたテストの総得点	7420点	3450点	5850点	2700点	7370点	2500点	29290点
利用者数	7人	6人	10人	11人	12人	14人	16人
利用延べ日数	31日	31日	78日	50日	67日	50日	307日

※学習時間は授業動画を視聴している時間（再生中の時間）とテストを解いている時間（10問最後まで解いたテストのみ）を抽出。

※テストの総得点は、デキタス上の「基本問題」または「チャレンジ問題」について、1問正解10点として集計した。（○×チェック問題は集計外）

■ デキタス利用状況の特徴

- ・上記データについて、比較対象や基準がなく評価が難しい。
- ・土日や冬休み中の利用実績が大きく減少すること、8名の定期利用者のうち7名は「和」なごみルーム滞在中に先生や学習支援員のサポートのもとで利用していることから（家庭でのご利用は1名のみ）、デキタスの有効活用において、「場」と「人」の重要性を再度認識させられた。
- ・個別学習計画を作成した生徒は5名ともデキタスの学習時間の増加、「和」なごみルームへの放課後滞在時間の延長が見られ、学びの動機にプラス作用をもたらした（※次ページ以降で詳細を報告）。

学習支援員の配置

■学習支援員の役割

週2日の「和」なごみルームに常駐し以下の役割を果たした。

- ・生徒に寄り添い学習のサポート（教科指導は行わない）
- ・先生方との連携・連絡・相談
- ・希望者に対して個別学習計画の作成を支援
- ・個別学習計画に対する学習の進捗チェックと声掛け

学校の教員ではないことが、子供たちにとってより気軽に相談できる相手となったようである。総じて学習意欲にプラスの作用をもたらしていた。

担当：株式会社JMC



個別学習計画

2019 やってみたいことシート 【将来～今】

氏名 _____

来年あたりにあなたが

将来あなたが

今のうちにやっておいたほうが良いと思うことを書いてみよう。

2019 まなびたいことシート 【2学期～3学期】

氏名 _____

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元
教科の学び		ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート
		テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト	テスト
その他の学び												

■個別学習計画の作成の基本方針

希望する生徒に対して「個別学習計画」を作成した。計画作成にあたっては、ノルマや強制的なものと誤認し学習意欲の減退をもたらす恐れもあったため、生徒本人が希望していることを絶対条件とした。また、本人が自らの意志で計画の作成を希望するように、学習支援員よりゆるやかな働きかけを行った。計5名が城南進学研究社の担当者とともに計画を作成し、その他1名が自ら計画を作成した。

(11月からの個別学習計画2名 1月からの個別学習計画3名)

個別学習計画作成のポイント

2019 やってみたいことシート 【将来～今】

氏名 _____

来年あたりにあなたが やってみたいこと	将来あなたが やってみたいこと	今のうちにやっておいたほうが良いと思うことを書いてみよう。 実際にできなくてもOK。とりあえず書いてみよう。
------------------------	--------------------	---

2019 まなびたいことシート 【2学期～3学期】

氏名 _____

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元
教科の学び												
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト		ノート	テスト
その他の学び												

■ 個別学習計画作成支援のポイント

一切のMust（～しなければならない、～すべき）を排除し、「好きなこと、取り組んでみたいこと」を聞き、生徒本人の潜在的にやりたいと感じていることを引き出しながら以下の手順で作成を支援した。「人から言われてやるのではなく、自分で立てた計画」となることを重視した。

1. 好きな教科、得意な教科、学びたい教科を聴く。
2. 特に学びたい分野や単元について、目次を見ながら聴く。
3. 将来のこと、テスト範囲、新学年へのつながりなどを考慮し
学んでおいたほうが良いと思われる単元や学ぶ順番を助言する。
4. 計画表に単元を書き起こす。
5. 計画通りに進まなくてもよし。そもそも多くの物事は計画通りに進まないものである。楽しく、無理なく、計画の見直しをしながら進めていけばよいことを相互に確認する。

生徒用「学習ファイル」



1. 学習計画表

2019まなびたいことシート 【2学期～3学期】		氏名				
2019.10.29に立てた計画						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科の学び	理科 単元	理科 単元	理科 単元	理科 単元	理科 単元	理科 単元
	数学 単元	数学 単元	数学 単元	数学 単元	数学 単元	数学 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	音楽 単元	音楽 単元	音楽 単元	音楽 単元	音楽 単元	音楽 単元
	美術 単元	美術 単元	美術 単元	美術 単元	美術 単元	美術 単元
	体育 単元	体育 単元	体育 単元	体育 単元	体育 単元	体育 単元
	社会 単元	社会 単元	社会 単元	社会 単元	社会 単元	社会 単元
	国語 単元	国語 単元	国語 単元	国語 単元	国語 単元	国語 単元
	総合 単元	総合 単元	総合 単元	総合 単元	総合 単元	総合 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元	英語 単元
その他の学び	英語	英語	英語	英語	英語	英語

計画の目標は、好きな教科の国語と理科(生物分野)を伸ばしていくこと。
 ・授業を見てノートの穴埋め → 基本問題 B0点超えたらチャレンジ問題まで
 ・やってほしいと思う「数学」はつまづかないようにしながら、小学生範囲の中で不安のある単元の復習も行う。
 ・英語はこの計画の進み具合を見て話し合っていく。

2. 学習記録シート

【通常期間 授業進度管理シート】

学年	科目	教科書	学習単元	氏名
----	----	-----	------	----

やる気メーター

授業を見て、基本事項や重要なポイントを理解しよう

授業記録

1 授業進度を見ながらノートの穴埋めを完成させよう
一時停止・巻き戻しを使って自分のペースで進めよう

2 O×チェックで内容を振り返り

学習する授業単元の名称を記入しよう。	日付	O×チェックの進捗を記入しよう	日付

3. デキタスノート

授業を見てまとめてみよう！

3 地球儀と世界地図 その2

＜地球儀と世界地図＞

は、地球をそのまま球形にした地球儀。

地球儀は、面積や陸地の形、距離や方位も正しく表現しているんだ。

ただ地球全体を一眼に見られないので、が不便。

でも世界地図は平べったいから、すべての情報を正しく表すのは不可能なんだ。

＜世界地図その1＞

は、経線と緯線が直角に交わる世界地図。

地球上での位置がわかりやすい。でも、地図の上下の幅の違うの距離が正確に拡大されてしまう。

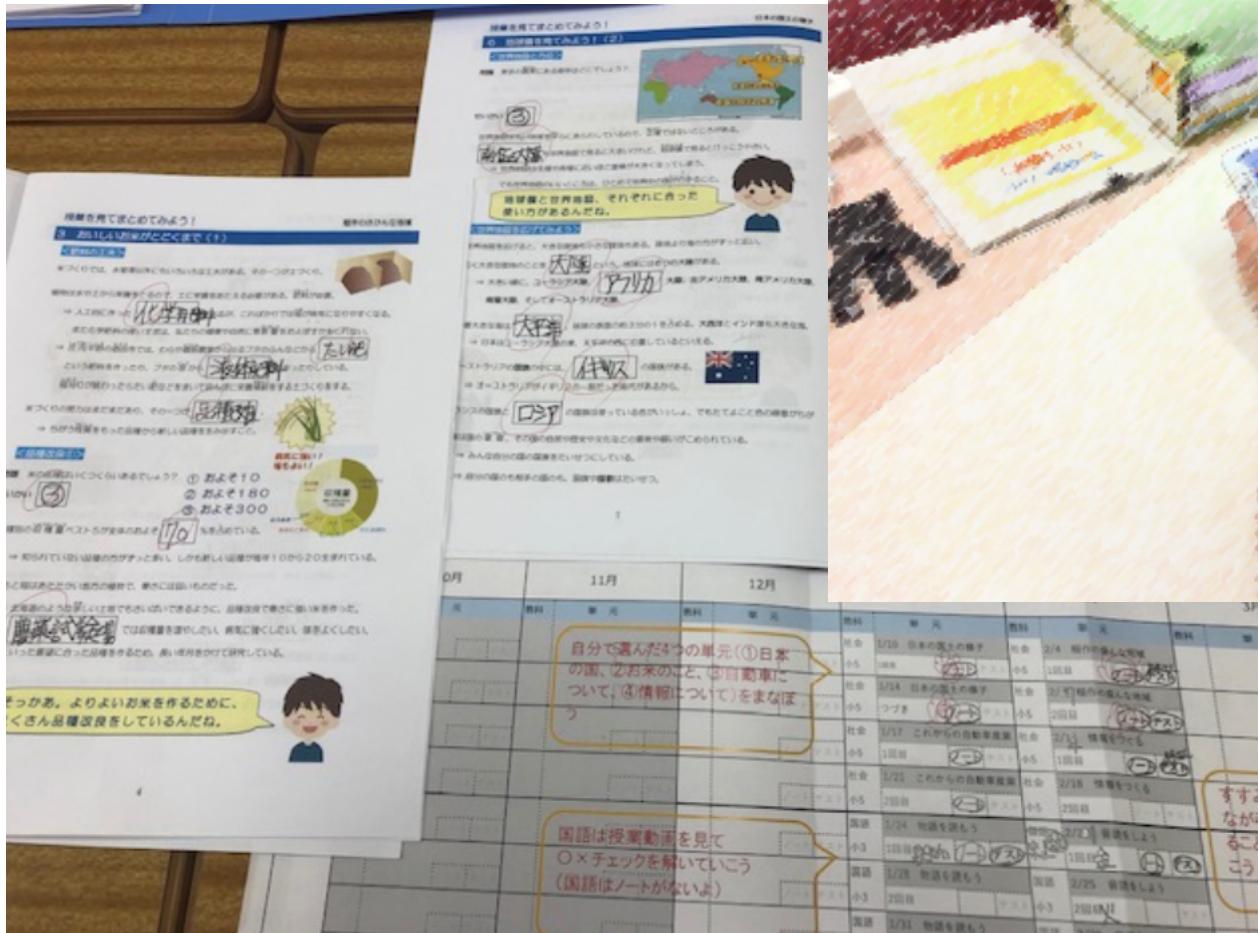
たとえば、と南米大陸がほぼ同じ大きさに見える。が便利。

＜世界地図その2＞

■学習用生徒ファイルの作成
 個別学習計画を作成した生徒は「学習ファイル」を作成し、計画に沿った学習がしやすくなるよう支援した。シートファイルに綴じこんだものは以下の3点である。

1. 学習計画表（学んだことを随時チェックする）
2. 学習記録シート（学んだ内容の細かい記録用）
3. デキタスノート（計画の順番に並べて綴じる）

「学習ファイル」を作成しての実際の学習風景



個別学習計画（事例1）

生徒紹介【中学3年男子】

中学2年時の当校日数は10日未満。起立性調節障害をもつ。

9月以降は週4回以上の登校となり、体調不良以外は登校するようになった。

氏名 1010

		1月		2月		3月	
月	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元
		数	平行線と角 ✓	数	相似な図形 ✓		
		中2	ノート テスト	中3	ノート テスト		
		数	文字式の利用 ✓	数	合同な図形 (1) ✓	数	平行線と比 (1) ✓
		中2	ノート テスト	中2	ノート テスト	中3	ノート テスト
		数	多項式の計算 ✓	数	合同な図形 (2) ✓	数	相似な図形の面積と体積
		中3	ノート テスト	中2	ノート テスト	中3	ノート テスト
		数	因数分解 ✓	数	三角形 ✓	数	三平方の定理/応用
		中3	ノート テスト	中2	ノート テスト	中3	ノート テスト
		数	式の計算の利用	数	平行四辺形 (1) (1) ✓	数	円と直線
		中3	ノート テスト	中2	ノート テスト	中3	ノート テスト
		数	根号を含む式の計算 ✓	数	平行四辺形 (2)		
		中3	ノート テスト	中2	ノート テスト		
		数	図形の移動 (1) ✓	数	いろいろな立体 (1) (1) ✓		
		中1	ノート テスト	中1	ノート テスト		
		数	図形の移動 (2) ✓	数	立体の表面積と体積		
		中1	ノート テスト	中1	ノート テスト		
		数	基本の作図 (1) ✓				
		中1	ノート テスト				
		数	基本の作図 (2) ✓				
		中1	ノート テスト				
		数	いろいろな立体 (2) (1) ✓				
		中1	ノート テスト				
		数	二次方程式 90, 80, 80, 100 (4x+80)				
		中1	ノート テスト				
		数	関数 60, 70, 60, 50				
		中1	ノート テスト				

2/13(金)までに終わらせたい

教科の学び	ノート	テスト	ノート	テスト
	ノート	テスト	ノート	テスト
その他の学び	計画の目標は、高校入試までに、好きな教科(数学)の好きな分野(計算と図形)についてデキタスで学び、基本事項をマスターすること。			
	<ul style="list-style-type: none"> 授業を見てノートの穴埋め → 基本問題(80点超えたらチャレンジ問題をと) 早く終わらそうなら、英語か生物も12月から計画を立ててみる (計画の進み具合を見て12月の中旬に相談しよう) 計画を立てた以外の教科の学習もOK! 			

個別学習計画を10/29（火）に作成
 計画の目標は高校入試までに、好きな教科である数学の好きな分野（計算と図形）の基本事項をマスターすることを自己目標とした。
 計画作成後は学習量が大幅に増加し、11月中に2月の学習内容まで進んでしまった。デキタス上の確認テストも（単元に偏りはあるが）繰り返し受験し、徐々に得点が向上、努力の跡がうかがえた。

個別学習計画（事例 2-①）

生徒紹介【中学1年男子】

学習への不安から、欠席が多くなっていましたが、9月以降「和」なごみルームにてほぼ毎日学習を進められるようになった。

氏名 ID 12

		1月		2月		3月	
教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元
	数	いろいろな立体/立体のいろいろ	数	正負の数	数	文字を使った式	
	ノートテスト 80		60 60 70 80		ノートテスト		
数	方程式(2)	数	加法和減法	数	文字式の計算と利用		
	ノートテスト				ノートテスト		
数	比例	数	乗法と除法	数	割合		
	ノートテスト 30				ノートテスト		
数	反比例	数	平均	数	分数と整数		
	ノートテスト 0.70				ノートテスト		
理	身の回りの物質とその性質(1)	理	細胞の世界	数	単位量		
	ノートテスト 60 60 60		ノートテスト 80		ノートテスト		
理	身の回りの物質とその性質(2)	理	動物のからだのはたらき	理	動物の行動とからだのしくみ		
	ノートテスト 70		ノートテスト		ノートテスト		
理	水溶液の性質	理	動物のなかま	理	動物の分類と生物の変化		
	ノートテスト 40 40 50 50 0 70		ノートテスト		ノートテスト		
理	物質の姿と状態変化						
	ノートテスト 70 50						
理	光の世界						
	ノートテスト 80						

テスト範囲を学習する。

12月と1月クラスと同じ範囲を学習する。

2月は中2の準備として計算分野の学びなおし。3月は不安な分野の学びなおし

好きな生物はどんどん学ぶ。中3分野もOK!

✓ かわる大地 50 60 100
✓ かわる大地 50 40 90
✓ 大地の変化 60 80
✓ 音の世界 40 40 50 90
✓ いろいろな世界の大地 60

✓ 物質の変化
✓ 最新の技術
✓ 静電気と電流

中2 動物の子孫のつくりかた
✓ 惑星と恒星、宇宙の広がり
✓ 月と惑星の見え方
✓ 化学変化と反応

個別学習計画を11/1（金）に作成
 理科の生物分野に焦点を当てて計画を作成。生き物が大好きであることから現在中1生ではあるが、生物分野は中2生の2単元分まで先取りする学習する計画を作成。
 その後、理科に対する学習が加速し、3月までのすべての解説授業の視聴を12月中に終了させてしまった。また、生物以外の分野についても積極的に学ぶ様子が見られた（赤字手書きの単元）。

読書

計画の目標は、好きな教科の国語と理科(生物)の授業を見てノートの穴埋め → 基本問題
 ・ やっておいしたほうが良いと思う「数学」は
 ・ 英語はこの計画の進み具合を見て話し

個別学習計画 (事例 2-②)

2019 まなびたいことシート その2【1/17作成】
テスト範囲学習作戦編 (今回は期限付き)

氏名 1012②

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	単元	教科	単元	
教科の学び							理科	ゆれる大地 ✓ 60.90.80 1/25まで ノート テスト 40.60	音の世界 ✓ 80.60 2/7まで ノート テスト		動物のからだのはたらき 3/7まで ノート テスト	
							理科	火をふく大地 ✓ 60.80 1/25まで ノート テスト 40.30	光の世界 110 2/7まで ノート テスト		動物の行動とからだのしくみ 3/14まで ノート テスト	
							理科	大地の変化 ✓ 30.40 1/31まで ノート テスト	いろいろな力の世界 50.70.80.80.90 2/14まで ノート テスト 40.60.50		動物の分類と生物の変化 3/19まで ノート テスト	
							理科	光の世界 60.60 1/31まで ノート テスト	*テスト全範囲のキミ問 2/17まで ノート テスト			
									細胞の世界 ✓ 80 2/28まで ノート テスト			
							英語	Tina's school life ノート テスト	英語	Happy new year ✓ 70 ノート テスト		
							数学	テスト範囲① ノート テスト	数学	テスト範囲② ノート テスト		
								2/17 2/18 学年末テスト				

【テスト範囲学習作戦 学びの手順】

- 1) テキストノート
2回目なので、最初は何も見ないで穴埋めしてみる
そのあと赤ペン持ちながら、解説動画を見て答え合わせ。
- 2) 基本問題
80点取れるまで繰り返してみよう。
- 3) チャレンジ問題
間違えた問題の見直しが大切だね。
- 4) 学校の理科ノート
左のページを埋めていこう
- 5) キミ問
理科テスト日の2~3日前に集中してやろう

(→ 前ページより)
初回に立てた学習計画を早期に終了させてしまったので、
1/17に1月から3月までの学習計画を追加で作成。以降は定期
テストでの得点向上に意欲を持ち、テスト学習を中心に取り
組んだ。2月末時点で理科の3学年分すべての学習範囲の解説
動画の視聴が完了したことに驚かされた。

元の単元に

- ✓ 物質-アミノ酸 60
- ✓ 地球の運動と天体の動き
- ✓ 力の規則性
- ✓ 性質と非対称性
- ✓ 前線と気圧
- ✓ 化学変化と物質の性質
- ✓ 公民-現代社会の財や政治
- ✓ 公民-日本国憲法と国民権
- ✓ 生物の子孫のつくりかた

個別学習計画（事例3）

生徒紹介【中学3年男子】

個別支援学級に在籍。保護者・本人の希望により放課後に残って学習することを決定。ときおり集中が途切れるためサポートを要す。

氏名 伊 川

		1月		2月		3月	
		教科	単元	教科	単元	教科	単元
教 科 の 学 び		中1	1/10 HI! ✓	中1	2/4 A Summer Festival		
		英語	1回目 ノート テスト	英語	1回目 ノート テスト		
		中1	1/14 At School ✓	中1	2/8 A Summer Festival		
		英語	1回目 ノート テスト	英語	2回目 ノート テスト		
		中1	1/17 At School	中1	2/15 A Summer Festival		
		英語	2回目 1/2 ✓ 7/4 ✓	英語	3回目 ノート テスト		
		中1	1/21 The Teachers	中1	2/18 Breakfast Time		
		英語	1回目 1/4 ✓ 7/11 ✓	英語	1回目 ノート テスト		
	中1	1/24 The Teachers	中1	2/22 Cheer Up, Tina			
	英語	2回目 2/10 ✓ 7/14 ✓	英語	1回目 ノート テスト			
	中1	1/28 On the Way Home	中1	2/25 Cheer Up, Tina			
	英語	1回目 ノート テスト	英語	2回目 ノート テスト			
	中1	1/31 On the Way Home	中1	2/29 Cheer Up, Tina			
	英語	2回目 ノート テスト	英語	3回目 ノート テスト			

英語を書けるようにしていこう

授業の動画を見ながら、ノートの空欄に単語を書いていこう

個別指導計画を12/16（月）に作成

「英語が書けるようになりたい」との生徒本人の希望を実現させるべく、中1の最初の単元より、デキタスノートを活用の上「英語で文章を書く」ことを中心に学習した。自分のペースで、週に2回放課後の30分間、最後までやり抜いた（1月からは10分延長を希望して40分間）。

すみ具合を見ながら、3月にやることを決めていこう

個別学習計画（事例4）

生徒紹介【中学1年男子】

個別支援学級に在籍。保護者・本人の希望により放課後に残って学習することを決定。集中することが困難なためサポートを要す。

氏名 LD 22

教科	単元	1月		2月		3月	
		単元	単元	単元	単元	単元	単元
教科の学び	社会	1/10	日本の国土の様子	社会	2/4	稲作の盛んな地域	
	小5	1回目	✓	小5	1回目	ノート	テスト
	社会	1/14	日本の国土の様子	社会	2/9	稲作の盛んな地域	
	小5	つづき	✓	小5	2回目	ノート	テスト
	社会	1/17	これからの自動車産業	社会	2/15	情報をつくる	
	小5	1回目	ノート	小5	1回目	ノート	テスト
	社会	1/21	これからの自動車産業	社会	2/18	情報をつくる	
	小5	2回目	ノート	小5	2回目	ノート	テスト
	国語	1/24	物語を読もう	国語	2/22	音読をしよう	
	小3	1回目	ノート	小3	1回目	ノート	テスト
	国語	1/28	物語を読もう	国語	2/25	音読をしよう	
	小3	2回目	ノート	小3	2回目	ノート	テスト
国語	1/31	物語を読もう	国語	2/29	音読をしよう		
小3	3回目	ノート	小3	3回目	ノート	テスト	

自分で選んだ4つの単元(①日本の国、②お米のこと、③自動車について、④情報について)をまなぼう

国語は授業動画を見て
○×チェックを解いていこう
(国語はノートがないよ)

すすみ具合を見ながら、3月にやることを決めていこう

個別指導計画を12/16（月）に作成
週2回放課後の30分間、「和」なごみルームでの学習を行った。保護者とのご相談により社会と国語の学習を進めることとなる。自分のペースで取り組む。社会2単元分のノートの穴埋めを完成させたことに達成感を感じて、本人も大変嬉しそうであった。

さらばり代表値、
敷、
) 天気のようなと気遣

個別学習計画（事例5）

生徒紹介【中学2年男子】

通常のクラスにて通常の授業を受けているが、入学当初より学習に不安を抱え、特に数学の理解が進んでいなかった。算数を小学生範囲から学びなおす目的で「和」なごみルームを利用。

氏名 ID6

		12月	1月	2月	3月
		単元	教科 単元	教科 単元	教科 単元
教科の学び		算数	小5 整数と小数 ✓ 算数	小6 文字と式 算数	中2 式の計算 数学
		算数	小5 小数(1) ✓ かけ算 算数	小6 分数(1) 算数	中2 文字式の利用 数学
		算数	小5 小数(2) ✓ わり算 算数	小6 分数(2) 算数	
		算数	小5 整数(1) 算数	中1 正負の数 数学	
		算数	小5 整数(2) ✓ $\frac{1}{10}$ 算数	中1 加法と減法 数学	
		算数	小5 分数と小数 算数	中1 乗法と除法 数学	
		算数	小5 分数(たし算とひき算) 算数	中1 文字を使った式 数学	
		算数	小5 分数と整数(かけ算とわり算) 算数	中1 文字式の計算と利用 数学	

中学2年生までの計算分野の基本をマスターしよう！
 小学5年生・・・1月中
 小学6年生・・・2月中
 中学1年生・・・2月中
 中学2年生・・・3月中
 これで中3生分野の学習の土台が出来上がるよ。

✓小4 かけ算
✓小3 かけ算

$\frac{3}{12}$ 段米の巻戻しと日本の開国

てノートの空欄を埋める(埋め終わったら✓)
 解く
 (途中式は紙に書いてから答えを入力しよう)

個別指導計画を12/16（月）に作成

数学に深いつまづきを抱えてしまっており、その克服を目的に小5の算数からさかのぼり学習を実施。自己の弱点を把握しながら必要に応じてさらに小4・小3に戻りつつ、計画を進めている。

ICTを活用した学習支援 まとめ

- ・ 解説動画の内容を穴埋め式ノート（デキタスノート）に書き取り、ノートを完成させることの積み重ねが、本人の達成感を醸成させるようである。
- ・ 担任の先生にとって、生徒の学習内容が穴埋め式ノートに可視化されるため、生徒の学習状況の把握に役立った。
- ・ 生徒の学習意欲喚起において以下の言葉の投げかけが有効であった。「無理してやらなくても良いんだよ」「ここまで進んだの？よくやってるね」「しっかり（ノートに）書けているね」「テストの得点上がったね。繰り返し粘ってよかったね。」
- ・ 学習計画や学習状況について、先生方との連携のスキームが十分に確立できなかった。

PBL 1回目 (1/21に実施)

■希望者3名によるPBL

計画当初は社会とのつながりや探求的な学習に取り組む目的としてPBLを設定したが、生徒の実態に合わせてPBLの導入として話し合い学習を行った。

参加希望者どうして「学び」についてをテーマとして話し合い学習を行った。終了後の感想は「楽しかった」「またやりたい」「緊張した」「大人がたくさんいて驚いた」「ファシリテーターが話しやすかった」「学びのテーマは難しかった」「初めて会う人とこんなに話したのは久しぶりだった」など。

前半の自己紹介は盛り上がり、後半の「学び」について深掘りを行うと沈黙傾向となる。本来のPBLとしての成果は得られずも、参加者より『「和」なごみルームのみんなと楽しく話せて仲良くなれた気がしてうれしかった』とのコメントをもらい、参加者からの希望により第2回目を開催することとなった。

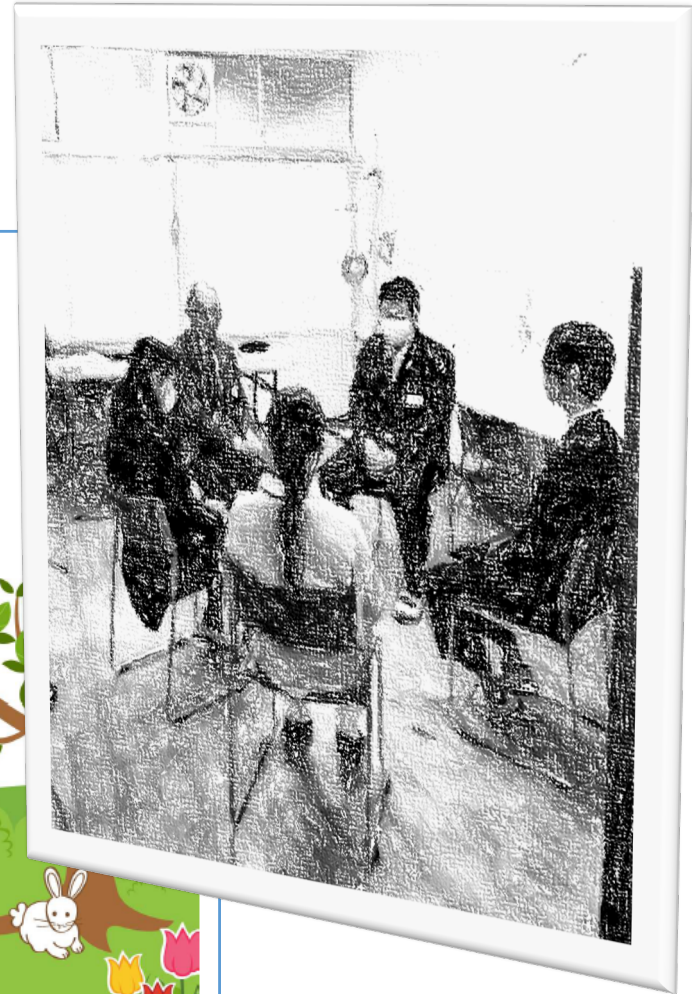
「話し合い学習」のご案内

「学び」をテーマに
ゆる〜く 語り合ってみよう

場所: 「和」なごみルーム

日時: 1/21 (火)

時間: 12:00-12:50



PBL 2回目（2/4に実施）

鴨井中学校 話し合い学習 自己PR ワークシート

1. あなたはどんな性格ですか？長所と短所を教えてください。（ヒント：周囲の人にどう言われますか？）

2. あなたが今までで一番ほめられたことは何ですか？

3. あなたが今までで一番がんばったこと、集中して取り組んだことは何ですか？

4. 自分のよいところはどのようなところですか？

■ワークシートを用いてPBL2回目を実施

1回目のPBLの準備運動として盛り上がりを見せた「自己紹介」を深掘りすべく、ワークシートを活用して「自分の良さを見つめなおす」ことをテーマとし、質問・話し合いを通じて自己PRショートスピーチを行った。3名のうち2名が体調不良による欠席となってしまったことが残念であったが、参加した生徒からは「とても楽しかった。自分が考えてきたことをきちんと話すことができ嬉しかった。」とコメントし自信を持った様子であった。

生徒アンケート結果集計

2/16より「和」なごみルームを利用していた生徒に対して無記名アンケートを行った。5名より回収。結果は以下の通り。

	役に立つ	まあまあ役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	役に立たない
なごみルームはあなたの学びの役に立っていますか	5	0	0	0	0
ICT教材を利用できたことはあなたの学びの役に立ちましたか	4	1	0	0	0
話し合い学習はあなたの学びに役に立ちましたか	1	2	0	0	0
先生以外の支援員によるサポートはあなたの学びの役に立ちましたか	2	2	1	0	0

生徒コメント集

大好きな数学が今出来るということはとても幸せです。正負の数は面白いです。昔は苦手だったけど最近は得意になりました。嬉しいです！
これからもどんどん頑張ります。もっともっと勉強して努力して成果を伸ばします。やる気を精一杯出します。実は、勉強好きなんです。成績あげてガンガンレベルアップしていきたいです。ここでの学びに出会ってから私の人生は変わりました。気持ちを落ち着けて取り組む事が出来たら良いなと思いました！

人にみられることなく、小学校の勉強にさかのぼれることがうれしかった。小学校にさかのぼるのは恥ずかしい気がするから。

自分で計画を立てられたことが嬉しい。何とかして立てた計画を終わらせたいとおもいます。

最近は夜、ちゃんと眠れるようになってきた。

どうしてこんなに勉強できるの？との支援員からの問いに対して

「好きなこと（理科）をやれるから。もし苦手な英語の計画だったらこんなにできない」

PBLに参加して、保護者からも褒めてもらえた。自由にいろいろなことを聞いたことが楽しくて、なごみルームのみんと仲間になれたような気がして嬉しかった。

教員アンケート結果集計

2/16より「和」なごみルームを利用していた教員に対して無記名アンケートを行った。
15名より回収。結果は以下の通り。

	役に立つ	まあまあ役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	役に立たない
「和」なごみルームでICT教材を利用できたことは生徒や先生方にとって有益でしたか	11	3	1	0	0
話し合い学習は「和」なごみルームご利用の生徒や先生方にとって有益でしたか	3	2	7	0	0
民間の支援員の配置は「和」なごみルームご利用の生徒や先生方にとって有益でしたか	11	4	0	0	0

教員コメント集

自分のペースで学習を進めることができる環境があったことで、本来学校に登校することが難しい子が、定期的に登校できている。

「英語を書けるようになりたい」と自分の意思を表示できたのは、とても意味のある事。

PBLについて、取り組み自体はとても良いと思う一方で、それが原因でまた休みがちになってしまわなかの不安や心配もある。

デキタスもさわらないが、昼間は外出もしたくない、という生徒を今後どう支援すべきか・・・

ICT教材は教員にとって、その子にあった教材を作成する時間を省略でき、テストもあるので達成度を測ることもできた。今後の検証としては学習したものを評価していくことが必要だと思う

教室での学習に抵抗がある生徒にとって、学ぶ環境は教室だけではないことも提示できて、実際にICTを利用して学習が進められたことは大きかった。

未来の教室実証事業 成果と課題のまとめ

- ICTを活用した学習状況により、観点別評価へ反映させた。その中で評定が上がった生徒が実在した。ログイン時間や日数の基準作りは今後の課題である。
- 個別学習計画による動機づけと学習量の増加は確認できたが、まだ事例が少ない。継続して取り組みより多くの事例を創出し、計画作成のマニュアル化ができれば、全国的な課題に対する改善につながるかもしれない。
- 個別支援学級の生徒が放課後に残ってまで学習に取り組むケースは非常にまれであると思われる。個別支援学級での授業内でのオンライン学習システム活用についてとその効果も実証に取り組んでみたかった。
- 「和」なごみルームにも登校できない生徒に対して適切な支援が行えなかった。今後有効な支援として、ズームを用いた学習支援員との定期面談やデキタスの利用促進、アウトリーチ（訪問支援）の実施は有効な策となりうるか実証に取り組んでみたい。

未来の教室実証事業 次年度に向けて

前項の「成果と課題のまとめ」から、今後実証に取り組む必要を感じた懸案事項は下記のとおりである。

- ICTによる学習状況の成績への反映基準の作成
- より多くの事例作成と個別学習計画のマニュアル作成
- 個別支援学級にて発達障害等を抱えている生徒への効果的なICT活用の検証
- 家庭内での効果的な学習支援の検証